

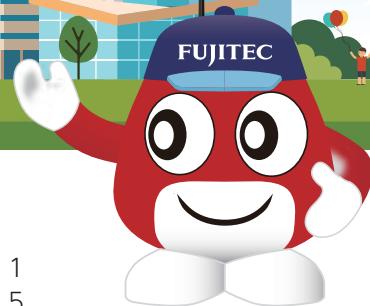


株主通信

第74期 フジテック株式会社
2020年4月1日～2021年3月31日

目次

株主の皆さまへ	1
当社の新たな戦略的方向性	5
74期のトピックス	6
財務ハイライト	7
企業データ	9
株式の状況／株式についてのご案内	10



当社マスコットキャラクター
“テッキー”

株主の皆さまへ



代表取締役社長
内山 高一

戦略的方向性に沿った施策の 推進に全力で取り組みます。

株主の皆さまには平素より格別のご高配賜り厚く御礼申し上げます。
また、新型コロナウイルス感染症に罹患された方々ならびに関係者の皆さまには、
心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早いご回復と事態の早期収束
をお祈り申し上げます。
当社の第74期(2020年4月1日から2021年3月31日まで)の事業概況の
ご報告と、第75期の取り組みについてご説明申し上げます。

2021年6月

■ 市場環境について

保守は社会基盤の維持として 継続的に提供

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が世界経済に影響を与えました。昇降機市場においては、中国の新設工事需要が台数ベースで微増となりましたが、その他の地域は総じて新設・モダンゼーション工事ともに減少しました。一方、昇降機の保守事業については、社会インフラの維持に欠かせないことから、影響は限定的でした。

この結果、2021年3月期の連結受注高は日本でモダンゼーション工事の受注が増加しましたが、グローバルの受注が

減少し、前期比6.3%減の1,746億円でした。2021年3月末時点の連結受注残高は前期末比1.5%増の2,110億円です。

当社グループでは、お客さまや関係先、従業員の“安全・安心”を最優先に新型コロナウイルス感染症拡大防止策を継続的に行ってまいりました。

■ 2021年3月期連結業績について

営業利益は前期と同水準でした

当期の連結業績は売上高1,695億円(前期比6.4%減)、営業利益132億円(同0.6%減)、経常利益146億円(同0.3%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は92億円(同6.3%減)とな



りました。当期は新型コロナウイルス感染症の影響を期初から受け、世界各地で工事の延伸や延期が発生しましたが、経営体制の改善を推し進め、最終的には前期と同水準の営業利益となりました。すべてのセグメントで前期に比べて減収となりましたが、日本、東アジア、南アジアの営業利益は前期と比べて増益となりました。

日本は新設事業でホテルやマンションの需要が減少し、売上に影響しました。一方でアフターマーケット事業は保守が契約率向上とコスト改善で収益に貢献し、モダンゼーション事業が第3四半期以降に復調しました。また、公衆衛生への意識の高まりから非接触ボタンの「エアータップ」を搭載した商品が好調でした。

東アジアは中国で中小案件の売上が減少した一方、香港で新設・保守とも堅調に推移しました。営業利益は中国で工場稼

働率の向上とコストダウンが貢献しました。

南アジアはインドネシア、マレーシア、インドでの新設工事減少が売上に影響しました。一方、営業利益はシンガポールの大型修理案件と、インドのコストダウンが貢献しました。

北米・欧州は、英国で、昨年買収した新規子会社の連結加入から売上が増加しましたが、米国とカナダでの売上減少が響き、減益となりました。



非接触ボタン「エアータップ」

2022年3月期 セグメント別計画

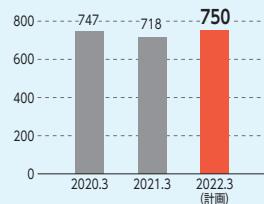
※売上高、営業利益のグラフ数値は調整前の数字です

日本

売上高

750 億円

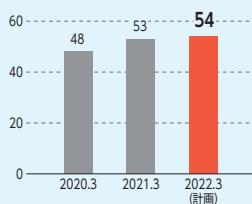
■売上高 (億円)



営業利益

54 億円

■営業利益 (億円)



東アジア

売上高

730 億円

■売上高 (億円)



営業利益

51 億円

■営業利益 (億円)



2022年3月期の計画について

アフターマーケット事業と成長市場の拡大と株主還元強化に努めます

昨年12月に当社は「新たな戦略的方向性」を公表しました。

この中で事業における重点領域につきましては、成長市場における新設事業に加えて、成熟市場における既設昇降機を対象にしたアフターマーケット事業に、より資源を投入し、業容の拡大を図ります。特に昇降機のリニューアルを行うモダニゼーションが北米、東アジアで活発な状況にあります。これらの需要を着実に受注に結び付けるために、モダニゼーションのニーズに対応したパッケージ商品の開発を進めます。

一方、中国や南アジアを中心とする成長市場では、グローバル標準機種競争力強化による事業拡大を目指します。また、事業体制の構築と積極的な投資により、強固な経営基盤の構築を図ります。

これらの重点領域に取り組むことで、財務目標として売上高は各地域の成長率を超える伸び率を目指すほか、営業利益率は早期に10%以上になるよう改善を図る成長投資も拡大します。利益率の向上により、ROEは10%以上の維持を目指します。また、成長投資と株主還元強化を通じ、中長期的な企業価値向上を図ります。コーポレートガバナンスにつきましても、新たに「指名・報酬諮問委員会」を設置し、強化に取り組みました。



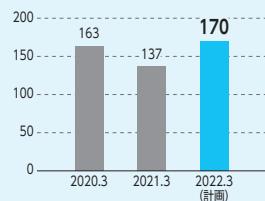
モダニゼーション工事を行う「HSBC本社」(英国・ロンドン)

南アジア

売上高

170 億円

■売上高 (億円)



営業利益

22 億円

■営業利益 (億円)

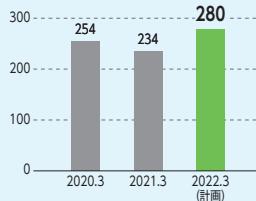


北米・欧州

売上高

280 億円

■売上高 (億円)



営業利益

13 億円

■営業利益 (億円)



2022年3月期連結業績は増収増益の計画です

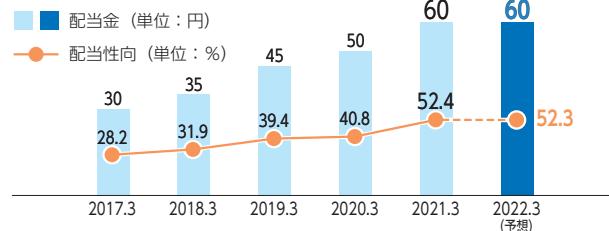
当社におきましては、お客さまと関係先、従業員の“安全・安心”を最優先にした事業活動を進めるとした上で、2022年3月期連結業績は売上高が最高を更新する1,840億円、営業利益139億円の増収増益を計画しています。売上高は全セグメントで増収を計画し、営業利益は北米・欧州の損益改善が利益に貢献する計画です。この計画を実現するため、戦略的方向性の重点領域に沿って事業を進めます。

計画の達成に向けて日本では、「エアータップ」を搭載した標準機種「エクシオール」の受注拡大と同時にシェアアップを目指します。東アジアでは、中国でコスト競争力に優れた商品による事業拡大と、大型案件の獲得によるブランド力の向上を図ります。南アジアでは、シンガポールを軸に地域の販売体制を強化することで、全地域の売上回復を目指します。北米は新型コロナウイルス感染症からの経済活動の回復による、売上の拡大と収益の向上を見込んでいます。

■ 配当の状況

2021年3月期末の配当金につきましては、株主の皆さまへの積極的な利益還元を経営の最重要課題と捉えており、配当性向は50%以上の水準を目指します。期末配当予想に1株当たり10円を増配し40円といたしました。これにより、通期配当金は前期比10円増額の60円となります。なお、2022年3月期の配当金につきましては、通期で60円を予想しています。配当性向は52.3%となります。株主の皆さまには、今後とも末永いご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

1株当たりの配当金



当社の新たな戦略的方向性

当社は2019年度を開始年度とする中期経営計画を、初年度で目標値を全て達成したことに加え、新型コロナウイルス感染症拡大などにより、事業環境の先行きが不透明な状況にあったことから、昨年12月に「新たな戦略的方向性」を公表しました。

中長期的な戦略的方向性

① 事業活動

既設昇降機台数が多い成熟市場ではモダニゼーションと保守の重要性が高まります。ここに資源を集中的に割り当て、事業拡大を目指すことに加え、中国・南アジアの新設市場には、グローバル標準機種を中心にした競争力の強化を図ります。



② 財務目標・投資戦略・株主還元

財務目標	<ul style="list-style-type: none">● 売上拡大：各国の市場成長性を上回る事業成長の確保● 営業利益率：早期に10%以上● ROE：利益率向上を通じて、10%以上の維持
投資戦略	<ul style="list-style-type: none">● 成長投資の拡大：重点領域への積極的な投資による新たな成長<ul style="list-style-type: none">▶ 新設・アフターマーケット事業拡大に応じた成長投資▶ 収益力向上に向けた投資拡大
株主還元	<ul style="list-style-type: none">● 株主還元強化：積極的な株主還元を実行する<ul style="list-style-type: none">▶ 配当性向50%以上▶ 将来超過キャッシュが生じた場合には、株主還元の拡大を検討▶ 自己株式取得は、市場・ビジネス環境、資本健全性等を鑑みる

③ ガバナンス体制の強化とESGの取り組み

当社はガバナンス強化に取り組み、より強固な経営基盤の構築を目指すため、「指名・報酬諮問委員会」を設置したほか、2022年の定時株主総会終結の時をもって、買収防衛策の非継続を決定しました。

ESG経営の具体目標



74期のトピックス

当社は経営体質の強化を図るため、今後もさらに業容の拡大と収益力の向上を目指していきます。

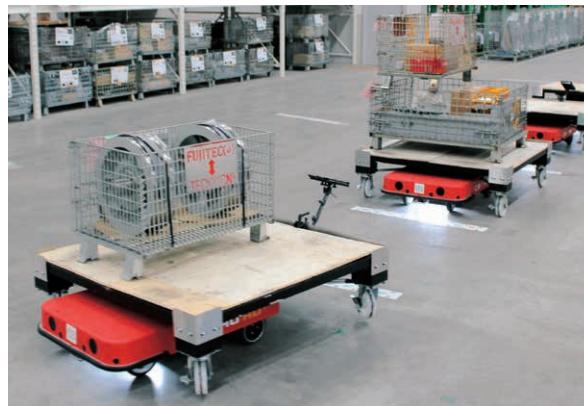
非接触ボタン「エアータップ」を展開

2020年4月より販売を開始した、非接触ボタン「エアータップ」が多くの皆さまの注目を集めました。ボタンに触れず、エレベータを操作できる商品コンセプトが公衆衛生意識の高まりに合致。一体型、ハイブリッド型、単体型の3タイプをラインアップし、病院や商業施設をはじめとするさまざまな建物へ納入が進んでいます。



自動化・省力化を推進

物流機能を担う東京デポでは、自動化・省力化の取り組みを推進しています。自動搬送ロボットは、同じルートを動き続け、トラックヤードから保管ラックまでの搬送を行います。この搬送の自動化により、従来の作業時間が半減するなど、生産性の向上につながっています。



搬送の自動化で生産性が向上

IT賞を受賞

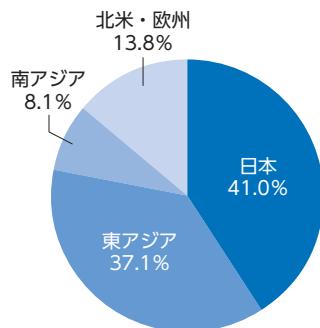
当社では各所で自動化・省力化を推進しています。社内のデジタルインフラを担うデジタルイノベーション本部は、現場の情報をスマートフォンなどのモバイル端末でいつでもどこでも閲覧できるGoogleマップを用いた地図システムを構築。業務の効率化を実現し、昨年11月に2020年度IT賞(公益社団法人企業情報化協会 主催)を受賞しました。



受賞したデジタルイノベーション本部のメンバー

財務ハイライト

セグメント別売上高

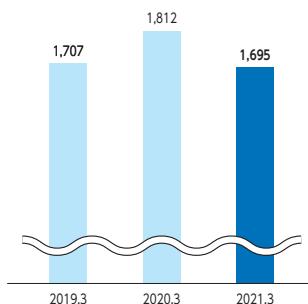


売上高

前期比
6.4%減

1,695 億円

(単位：億円)



営業利益

前期比
0.6%減

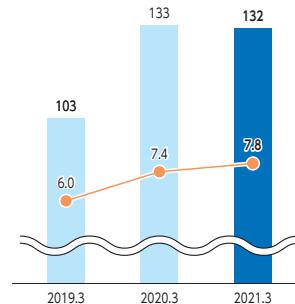
132 億円

営業利益率

前期比
0.4ポイント増

7.8 %

(営業利益 ■ 単位：億円)
(営業利益率 ● 単位：%)

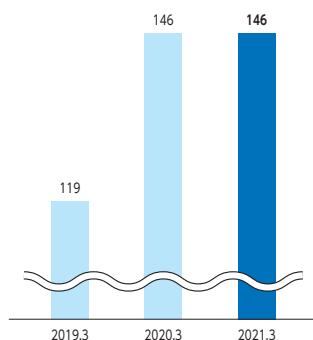


経常利益

前期比
0.3%減

146 億円

(単位：億円)



親会社株主に帰属する 当期純利益

前期比
6.3%減

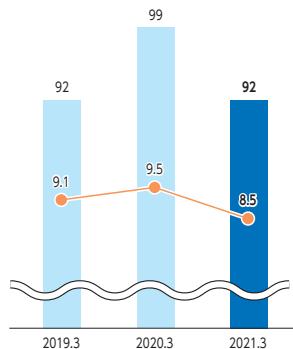
92 億円

ROE (自己資本当期純利益率)

前期比
1.0ポイント減

8.5 %

(親会社株主に帰属する ■ 単位：億円)
(当期純利益 ● 単位：%)
ROE



総資産

前期末比
116億円増

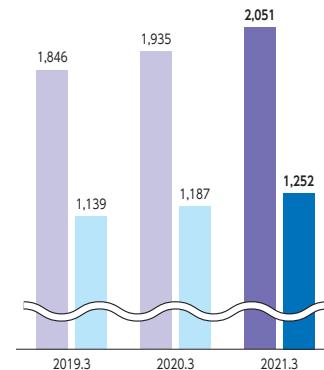
2,051 億円

純資産

前期末比
65億円増

1,252 億円

(総資産 ■ 単位：億円)
(純資産 ■ 単位：億円)



連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前期末 (2020年3月31日現在)	当期末 (2021年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	140,884	149,393
固定資産	52,697	55,803
有形固定資産	34,188	33,786
無形固定資産	3,640	4,680
投資その他の資産	14,868	17,336
資産合計	193,581	Point.1 205,196
(負債の部)		
流動負債	70,083	74,152
固定負債	4,783	5,778
負債合計	74,866	Point.2 79,931
(純資産の部)		
株主資本	119,059	124,318
その他の包括利益累計額	△ 12,145	△ 11,901
新株予約権	40	35
非支配株主持分	11,760	12,812
純資産合計	118,714	Point.3 125,264
負債純資産合計	193,581	205,196

Point.1 資産合計

資産合計は、前期末に比べ116億14百万円増加しました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少に対し、現金及び預金、英国での企業買収によるのれんおよび株価上昇による投資有価証券の評価差額が増加したことによります。

Point.2 負債合計

負債合計は、前期末に比べ50億64百万円増加しました。これは主に、電子記録債務、短期借入金の減少に対し、未払法人税等、工事損失引当金、前受金が増加したことによります。

Point.3 純資産合計

純資産合計は、前期末に比べ65億50百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の増加によるものです。

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前期 (2019年4月1日～2020年3月31日)	当期 (2020年4月1日～2021年3月31日)
売上高	181,232	169,573
売上原価	141,009	129,690
売上総利益	40,223	39,883
販売費及び一般管理費	26,847	26,594
営業利益	13,375	13,288
営業外収益	1,831	1,746
営業外費用	524	401
経常利益	14,682	14,633
特別利益	369	793
特別損失	558	401
税金等調整前当期純利益	14,493	15,025
法人税、住民税及び事業税	3,746	5,062
法人税等調整額	△ 759	△ 690
当期純利益	11,505	10,652
非支配株主に帰属する 当期純利益	1,589	1,365
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,916	9,287

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前期 (2019年4月1日～2020年3月31日)	当期 (2020年4月1日～2021年3月31日)
営業活動による キャッシュ・フロー	11,078	21,542
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 4,341	△ 7,955
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 3,800	△ 5,866
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 657	△ 62
現金及び現金同等物の 増減額	2,278	7,658
現金及び現金同等物の 期首残高	25,902	28,181
現金及び現金同等物の 期末残高	28,181	35,840

詳細は当社ホームページをご覧ください。

<https://www.fujitec.co.jp/ir>



企業データ

■ 会社の概況 (2021年3月31日現在)

創 業 1948年2月9日
資本金 125億3,393万円
所在地 本社ビッグウイング
滋賀県彦根市宮田町591番地1
TEL (0749) 30-7111
東京本社
東京都港区白金1丁目17番3号
TEL (03) 4330-8200

連結子会社 19社

■ 役員 (2021年6月22日現在)

[取締役]

代表取締役社長 内山 高一
代表取締役副社長 岡田 隆夫
取 締 役 浅野 隆史
土畑 雅志
社 外 取 締 役 杉田 伸樹
山添 茂
遠藤 邦夫
山平 恵子
引頭 麻実

[監査役]

社外監査役(常勤) 石川 賢一
監査役(常勤) 宇都宮靖雄
社 外 監 査 役 池田 辰夫
平光 聡

■ フジテック・グループ

日本

フジテック株式会社

東アジア 香港
台湾
韓国
中国

Fujitec (HK) Co., Ltd.
富士達股份有限公司
Fujitec Korea Co., Ltd.
華昇富士達電梯有限公司
上海華昇富士達扶梯有限公司
富士達電梯配件(上海)有限公司
上海富士達電梯研發有限公司
上海泰及商貿有限公司

南アジア シンガポール
フィリピン
マレーシア
インドネシア
ベトナム
インド
タイ
スリランカ
ミャンマー

Fujitec Singapore Corpn. Ltd.
Fujitec Inc.
Fujitec (MALAYSIA) Sdn. Bhd.
P.T. Fujitec Indonesia
Fujitec Vietnam Co., Ltd.
Fujitec India Private Ltd.
Fujitec (THAILAND) Co., Ltd.
Fujitec Lanka (PRIVATE) Ltd.
Fujitec Myanmar Co., Ltd.

北米 アメリカ
グアム
カナダ

Fujitec America, Inc.
Fujitec Pacific, Inc.
Fujitec Canada, Inc.

南米 ベネズエラ
アルゼンチン
ウルグアイ

Fujitec Venezuela C.A.
Fujitec Argentina S.A.
Fujitec Uruguay S.A.

欧州・中東 イギリス

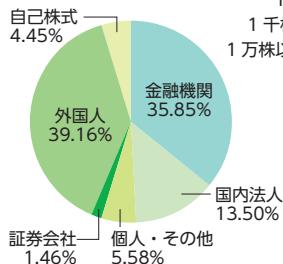
Fujitec UK Ltd.
Amalgamated Lifts Ltd.
Fujitec Saudi Arabia Co., Ltd.
Fujitec Egypt Co., Ltd.

サウジアラビア
エジプト

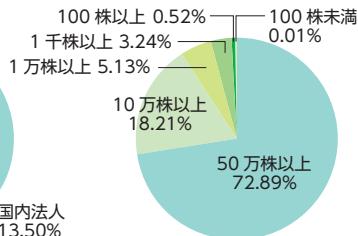
株式の状況 (2021年3月31日現在)

発行済株式の総数	株主数	上場証券取引所
85,300,000株	4,045名	東京証券取引所

所有者分布状況



所有株数別分布状況



大株主一覧

株主名	持株数(百株)	持株比率(%)
1. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	66,454	8.15
2. 株式会社ウチヤマ・インターナショナル	50,439	6.19
3. 株式会社りそな銀行	40,516	4.97
4. ジェーピー モルガン チェース バンク 385632	39,912	4.90
5. ジェーピー モルガン バンク ルクセンブルク エスイ 381572	38,596	4.74
6. 株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	32,397	3.97
7. 株式会社日本カストディ銀行(信託口)	27,080	3.32
8. ジェーピー モルガン チェース バンク 380055	25,250	3.10
9. 株式会社みずほ銀行	19,892	2.44
10. SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	17,674	2.17

(注1) 持株比率は2021年3月31日現在の発行済株式総数である85,300,000株から自己株式3,797,010株を除いた81,502,990株を基準に計算しています。

(注2) 当社は自己株式3,797,010株を所有しておりますが、上記の大株主(上位10名)の中には含まれていません。

株式についてのご案内

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 定時株主総会・期末配当：毎年3月31日 中間配当：毎年9月30日
- 公告方法 電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載することといたします。
ホームページアドレス：<https://www.fujitec.co.jp/koukoku>
- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内1丁目4-1 三井住友信託銀行株式会社
- 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8-4 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- 電話照会先 電話 (0120)782-031 (フリーダイヤル)

株主優待制度を新設

当社は2021年3月末日現在で当社株式を200株以上保有する株主の皆さまを対象に、株主優待制度を開始しました。株主優待制度は、株主優待ポイントを進呈し、「フジテック・プレミアム優待倶楽部」において、1,000種類以上の商品から、ポイントに応じて交換できます。



詳細はこちら

インフォメーション

3DデザインシミュレーターによるDXへの取り組み

3Dデザインシミュレーターはエレベータの色やパーツを着せ替えるウェブコンテンツです。標準型エレベータ「エクシオール」の完成イメージを、3DCGで描画します。仕様の約8割に対応し、かごのカラーバリエーションは約3万通りを再現。

完成イメージは回転・拡大して細部まで表示できるほか、URLのリンクを用いてイメージを共有、共同制作することも可能です。完成イメージの仕様データは、見積書作成や製造指示など当社の基幹システムに連携し、業務の効率化を促進します。



当社のウェブサイトをご覧ください



IR情報をはじめ、さまざまな情報を掲載しております。ぜひご覧ください。

- フジテックNavi
- 設計者向け図面情報
- 製品・サービス
- 3Dデザインシミュレーター
- 納入実績

<https://www.fujitec.co.jp>



フジテック株式会社



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



環境負荷の少ない「植物油インキ」を使用しています。



FSC 認証材および管理原材料から作られています。